



伊豆市

議会だより

No.19

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会報編集特別委員会
〒410-3292 静岡県伊豆市市山550 TEL 0558-85-2606 **2009.2.1発行**



安田 健彦(牛)大正14年 / 伊豆市所蔵

修善寺郷土資料館にて「伊豆市所蔵日本画展—四季の彩り^{いろど}」を開催。2月21日～3月22日まで。

目次 CONTENTS

■ 議長新年のあいさつ	2
■ 市長行政報告	3
■ 12月定例会概要・委員会審議	4
■ 一般質問	6
■ 意見書・請願	11
■ 議員新年の抱負	12
■ 議会傍聴の感想・3月定例会日程	14

平成 21 年 新春のごあいさつ



伊豆市議会
議長 飯田宣夫

市民皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「伊豆市議会」は、昨年10月の選挙により定数26名から20名となり、常任委員会も4から3委員会と編制され、11月より新たな議会運営がスタートを切りました。

これからは、市民皆様の現場の声を反映させるべく積極的な活動を行い、伊豆市活性化に向かって議員一同邁進する所存です。

昨年9月議会より議会の様子がインターネットにてご覧いただけるようになりました。少しでも多くの行政情報を共有していただきたいと考えています。

一方、「伊豆市」は昨年4月に菊地市長が誕生し、就任以来活発な行動にて職務に奮闘されていることは、皆様方周知の通りです。今は市民一丸となって、伊豆市の活性化と市民生活の向上のために取り組みなければならぬ状況下にあります。

昨年は、新火葬場「伊豆聖苑」、田方南消防署が供用開始になり、一昨年度すべり崩落した国道136号土肥新田や県道修善寺天城線矢熊地内（今垂）の道路改良工事が完了しました。

本年は、「ごみ処理施設」の建設や修善寺駅前周辺整備、小中学校再編問題、水道料金統一問題等、早急に解決を図らなければならない課題に取り組んでいきます。

今、伊豆市において最重要課題であります「人口の減少」を如何にして食い止めるのか？観光を主とする地場産業を元気づけ雇用の創出を図り、子育て支援や若者の定住人口を増やすための魅力ある施策を積極的に打つ必要があります。

さらに、私たち日常生活の利便性や心地よさを高めるために、基幹道路等のインフラ整備、自然環境を守るための循環型社会の実現、市民生活が安心できる医療や福祉の充

実など、実行すべきことは、多方面に山積しています。

これら目的を達成するには、行政・議会・市民の皆様との『協働』により、皆で知恵を出し合って一歩一歩着実に前進して行きたいと考えます。

大変に厳しい財政下ではありますが、何とかこの難局を乗り切り、自分たちの「地域づくり」に取り組みしましょう。

結びに、本年も市民に信頼される伊豆市議会を目指して行きます。議会に対して、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新春のご挨拶と致します。



12月定例会 市長行政報告

1 来年度予算編成の基本方針

平成21年度は厳しい財政事情にあつて、財政調整基金の取り崩しを避けることを大前提に考えています。行政事務全般において概ね5%の予算カットをお願いしたいと思ひます。その上で、伊豆市の将来を活性化させる事業、なかでも、長期的に伊豆市の人口減少を食い止めるための最重要課題である子育て支援策に1億円近い予算付けをしたいと考えています。

2 当面の重要課題

(1) まちいきいき

「定住化促進プロジェクト」の具体的事業として11月に定住ツアーを実施しました。今後は空き家や宅地など移住に必要な具体的情報を早急に収集整理し、提供できるようにします。

修善寺駅前周辺整備について、現時点での構想を逐次関係者に説明しています。最終的には市民参画のもとに整備計画を策定し、また牧之郷駅周辺整備も視野にいれ

つつ、ベッドタウンとしてのまちづくりを進めます。

年度内に国道136号の補修、県道修善寺天城湯ヶ島線の拡幅工事が終了し、道路事情が格段に改善されます。さらに日向地区で工事中の合併支援道路も完成が近く、これからは狩野川右岸の県道と大平ハーフィンターを結ぶ市道の完成にあらゆる努力を傾注します。

活力あるまちづくりの企画実行力を向上させるため、果敢な行政改革を進めます。その目的は、市職員に市と市民の役に立つ良い仕事をしてもらうことだと考えています。具体的には、市役所組織の7部を5部に、26課を18課に整理し、意思決定と実行のスピードアップを図ります。

また、地元の方々のご理解を前提として、天城温泉会館の温泉事業を凍結する等、負担が大きく効果の少ない事業の整理を進めます。

なお、子供の教育の再編成につきまして、小学校の適正規模・適正配置の検討、これに付随する幼稚園、保育園、あるいは認定こども園の関係につきまして、未来の伊豆を担ってくれる子供たちのこ

とを最優先に考えていただきたいと期待しているところでです。

その際、小学校、中学校が再編成されると、通学費負担の問題が出てきます。私たちは、小学生、中学生には教育の質を均等にすることで父兄の皆様にはご理解いただいているわけですので、通学の手段で負担に差がでないように、義務教育については基本的に通学費負担をなくす方向で検討させていただきたいと考えています。

(2) 自然つやつや

有害鳥獣対策の具体策として、特に被害額の大きい鹿対策の検討を進めて来ました。これまでに鹿肉の試食会と達磨山地区における囲い罠の設置を行いました。来年度には獣肉加工処理センターの建設を具体化したいと思ひます。

伊豆の命である美しい自然環境を保全するための財源確保のため、ごみ収集の有料化と上下水道料金のご統一を検討します。これらは、環境保全に直結する事業の収益を安定させるとともに、「同一サービスには同一料金」という市民負担の公平化を目指すものです。

(3) 人あつたか

昨年はご要望の強かった敬老感謝祭を地区ごとに開催いたしました。今後は、お年寄りが生きがいをもって健康に過ごすことができる仕組みづくりを進めます。

大変残念ながら、伊豆市内では重大な交通事故が続いており、これまでに5人の尊い命が亡くなっています。歩道が狭い箇所改修など道路改善に努力することはもとより、飲酒運転の根絶と市民の交通安全意識の高揚を一層呼びかけて参ります。

我が国は社会環境の急激な変化により、凶悪犯罪が低年齢化し、受刑者の社会復帰が困難で、再犯の確率が高くなっています。伊豆市が擁する美しい自然環境と心温かな市民の皆様を、若者たちの更生の場として活用できるのではないかと考えています。更生保護施設、自立更生施設が全国で不足している状況にかんがみ、その実情を正確に市民の皆様にご理解いただきつつ、関係当局と検討してみたいと考えています。伊豆市は、誰にとっても「いつでもお帰り」と言える故郷にすることが

一般会計の総額が 140 億 6,080万円になりました

平成20年
12月定例会

平成 20 年 12 月定例会が、12 月 4 日から 18 日までの 15 日間の会期で開かれました。

補正予算 5 件、条例の一部改正 7 件、規則の一部改正 1 件、公平委員会の共同設置について 1 件、田方地区交通災害共済組合の解散について 1 件、公の施設の指定管理者の指定について 7 件、諮問 1 件の議案 2 3 件と意見書 2 件を原案のとおり可決しました。

また、請願 1 件は不採択となりました。(関連 11 ページ)

補正予算(20年度)

●一般会計

3,994万円の減額補正、
総額140億6,080万円。

●簡易水道事業特別会計

107万6千円の減額補正、
総額8,332万2千円。

●下水道事業特別会計

1,134万7千円の増額補正、
総額21億3,293万7千円。

●農業集落排水事業特別会計

905万5千円の増額補正、
総額1億2,549万9千円。

●天城温泉会館事業特別会計

会館使用料等の減額による一般
会計繰入金の増額補正、
総額1億400万円。

条例等の一部改正

●伊豆市事務分掌条例の一部改正

●伊豆市職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部改正

●伊豆市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部改正

●伊豆市水道事業条例の一部改正

●伊豆市国民健康保険条例の一部改正

ほか2件

その他

●公平委員会の共同設置

伊豆の国市と共同で設置するもので、21年4月1日から施行。

●田方地区交通災害共済組合の解散

21年3月31日をもって、解散。

●公の施設の指定管理者の指定

中豆授産所・修善寺総合会館・土肥総合会館・修善寺温泉湯・恋人岬関連施設・修善寺自然公園・中伊豆室内温水プール・天城温泉プールの8施設の指定管理者を更新。

●人権擁護委員候補者の推薦

朝倉啓二氏(原保)

瓜島昌子氏(下白岩)

山居英明氏(湯ヶ島)

が候補者となることに同意。

法務大臣から3年の任期で委嘱されます。4月より。



議案のピックアップ

●一般会計補正予算(第3回)

歳入では、普通交付税、障害者自立支援法介護給付費等国庫負担金、地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金の増額、地方道路整備臨時交付金、合併特例債の減額等です。歳出では、認定こども園整備のため土肥幼稚園改修等工事費、学校給食費の賄い材料費、天城温泉会館特別会計への繰出金、天城北道路関連で2億45万円の減額があり、歳入・歳出それぞれ3,994万円の減額です。

●伊豆市事務分掌条例の一部改正

企画部を総務部に、上下水道部を建設部に統合し、7部から5部に組織改革するものです。

それに伴い、21年4月1日より課の数は26課から18課に。

●廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部改正

一般廃棄物処理業許可申請手数料等が3千円から1万円、許可証の再交付が500円から3千円に。



委員会の議案審査で
次のような質疑がありました

総務教育委員会

◆一般会計補正予算

問 学校給食費増額補正の理由は、食材は国内産食材が問題となり、食材は国内産に変更しました。著しい食材の高騰により、賄い材料費を増額補正するものです。

◆事務分掌条例の一部改正

問 幼稚園をこども課所管にする目的は。

答 これは案であり、これから課の枠組みや係を決めていきます。教育委員会に指導部分は残します。

問 都市計画課、管理課、国土調査課がなくなるが、業務は。

答 都市計画課、管理課の業務は新設する土地対策課に、国土調査課の機能は建設課で行います。

問 まるごと室の事務分掌は。
答 まるごと室は、企画調整業務のうち情報収集機能と、市長や副市長の業務調査等を担当します。

◆公平委員会の共同設置

問 公平委員会の役割は。
答 職員の給与や勤務条件、不利益処分についての不服申し立てに対する裁決・決定をします。

委員3名は、弁護士1名、伊豆市・伊豆の国市からそれぞれ1名と考えています。

福祉環境委員会

◆一般会計補正予算

問 廃棄物減量等推進審議会は、今後どのような審議を何回行うのか。

答 廃棄物減量の取り組みについての相談、廃棄物処理実施計画案についての意見聴取を今年度は後2回実施したいと考えています。

◆廃棄物処理業の許可手数料改正

問 一般廃棄物処理業許可申請手数料の値上げの理由は。

答 伊豆市以外の業者もあり、伊

豆の国市では手数料が1万円になっているので、他市町と同じ手数料でよいと考えています。

◆中豆授産所の指定管理者

問 利用者の保護者に意見を聞いているか。

答 市職員も保護者会に出席し、意見を伺っています。指定管理者となった春風会の、より専門的な指導により利用者の生活リズムに変化がみられるようになりました。

経済建設委員会

◆一般会計補正予算

問 天城北道路関連事業の減額2億45万円の理由は。

答 一部で用地交渉が難航し、本年度発注の見通しが立たず、道路工と上部工の一部の減額です。

問 農業生産強化施設整備事業補助金はどのような制度か。

答 中山間地域で、今回は筏場のわさび沢モノレール事業です。

◆簡易水道事業特別会計補正予算

問 今後、大きな投資事業予定は。

答 八木沢、小下田施設整備を予定しています。市営水道へ編入を考えており、21年度から検討を始めます。

◆施設の指定管理者指定

問 修善寺総合会館のホール利用14回は少ないが増やす努力は。

答 音響、照明の老朽化で改良には2億円程度かかります。有料の興行の事故には高額の補償が必要で誘致は難しく、総会等に限られているのが現状です。

問 土肥総合会館取り壊しの話は。

答 老朽化でクラックが入り危険ですが、各団体の所有権もあり、市の一存で決定できません。跡地利用を含め今後検討していきます。

問 修善寺自然公園の指定管理者延長の理由は。

答 総務省の方針は原則5年ですが、今後は見直しもありません。



市政を問う

～一般質問～

12月定例会での一般質問は、12月8日、9日の2日間、14名の議員が32件について行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

市有財産の有効活用を

(大川 孝議員)

市有財産の有効活用に関しては、政策提案をしてあります。その中に修善寺地区の熊坂字ヒラ平に約一ヘクタールの土地があります。多くの市民は、伊豆市は働く場所が少ないと言います。また、人口減少の歯止めを宅地造成にしてもよいと思いますが、本気で早急にこの土地を蘇らせる意気込みはないか所見を伺います。

長弁 市答

有効活用を早期に図るよう 検討を続ける

熊坂ヒラ平は宅地造成用地として、昭和61年から63年にかけて取得し、都市計画法の既存宅地としての要件を備えています。精密機器以外の工場建設は困難であり、大規模な宅地造成計画は大変魅力的ですが、現在の経済状況下では難しいのではないのでしょうか。今後、周辺地権者、住民の皆様の意向等も勘案した上で検討したいと思えます。

また、合併後、市内の使われていない施設については、より良い形で活用し、まちが元気になることに使えないか検討しています。



▲熊坂ヒラ平 (遠景)

質問

牧之郷駅周辺 (市街化調整区域)の開発

(稲葉紀男議員)

伊豆市の人口減少、特に年間2000人もの人口流出は大きな問題です。これを食い止めて定住人口を増やすため、首都圏へも通勤・通学可能な駅周辺の農地は、老後も豊かな自然の中で子どもと一緒に生活できる個人向け住宅地に発展できる可能性があります。

今何が問題ですか。市・地権者・地域はどうしたら良いですか。

長弁 市答

行政、市民の強い合意形成と 具体的計画作りを

牧之郷や駅前のベッドタウンとしての潜在的な可能性は非常に高いと考えています。一戸は百坪、しかも駅から2～3分の住宅街造りが市人口減の歯止めになると想定しています。

その実現には高いハードルがあります。都市計画の線引きがあり、基盤整備の必要性、都市計画法改正(H18年)、区域指定権者が市から県に、開発許可制度の見直し等、法制度への適合は市の役割。田方広域開発計画、地域、地権者、開発業者等の合意に基づく具体的計画と強い意志表明が必要と考えています。

質問

学校統廃合の土地活用

(内田勝行議員)

学校統廃合の問題は、合併当初から幾度も一般質問で取り上げてきました。これまでの経緯からおおかたの市民、保護者の方は避けては通れない問題であると認識し、次の関心事はどのように再編されるかに移っている感じがします。

再編後の土地活用について、どのように考え、また対応していくのか伺います。

長弁
市答

可能な限り
地域の活性化に

対象となっている学校が仮に再編されたら、可能な限り地域の活性化に結びつく活用の仕方、例えば、宿泊施設つき研修センター、体験農園用の宿舎、地域の防災センタープラス文化施設のようなものに転用できないかと考えています。

しかし、対象となっている学校の方向が決まる前に具体的な計画、具体的な交渉に進むには問題があり、今後の大きな課題と考えています。



▲廃校を再利用した西伊豆町営「やまびこ荘」

質問

市民が納得する行政改革

(三須重治議員)

合併の第一目標は、税金の有効活用です。行政経費の中で人件費は大きな割合を占めます。財源不足の自治体は職員削減や給与カットまでしています。

勤勉手当の削減やワークシェアリング(注)により財源確保を図り、市民生活の向上を目指す中、一年も早く適正職員数になるよう強く努力を求めますが、その対策は。

(注) 失業者を減らすために、一人あたりの実労働時間を減少することで、有給の雇用労働の総量をもっと多くの人で分かち合うこと。(三省堂国語辞典)

長弁
市答

組織のスリム化、フラット化、スピード化を

市職員の削減については、4年間で採用者が退職者の4分の1を下回り、当初の集中改革プランより早く進捗しています。来年度も退職予定者20人に対し採用職員3人と絞っています。勤勉手当の支給は本年度は改定ありません。

公務員という特別な身分制度の中で人事と給与制度の改革は制約がありますので、私は市長の権限内で組織のスリム化、フラット化、意思決定等のスピード化を図り、変化する社会環境に対応していく組織を作りたいと考えています。

質問

市民税の減収に伴う対策

(梅原泰嗣議員)

二十年度一般会計予算書によりますと、市民税が前年度対比約一億円の減収額になっています。団塊の世代の退職、企業活動の硬直化等の影響と思われませんが、市民税は歳入のウエイトも高く、将来的には歳入・歳出のバランスが危惧されます。

長期的な対策になると思いますが、市民税減収の対策について伺います。

長弁
市答

人口減少に歯止めを

伊豆市独自の財源を考えますと、人口減少に歯止めをかける必要があります、防止策としては、出産数の増加、就職などの社会的人口流出の防止、市外からの家族の誘致等の総合政策を駆使して、初めて人口減少に歯止めがかかるかと考えています。

その際、新たな企業誘致という魅力もありますが、現状では市内にある企業流出防止策が必要で、誘致と流出防止、また、市内企業の事業拡大策。それに向け努力、研究し、全力で取り組みたいと考えています。

質問

魔の横瀬交差点と 修善寺道路の無料化

(森 良雄議員)

横瀬交差点は歩車分離式のスクランブル交差点でしたが修善寺道路の開通により、現在のような信号となりました。当時から、歩行者の巻き込まれる事故が予想され、危険性が指摘されています。

11月14日、また人身事故が起こりました。

横瀬の安全のためにも、修善寺道路の無料化が必要で



▶修善寺横瀬交差点

市長
市答

無料化に向けて努力します

横瀬交差点の安全については、人間工学的な対応ができないか検討しています。修善寺橋から中央ビルにかけての約200メートルの改良を考えています。

修善寺道路の無料化は容易に実現できるものではありません。伊豆市単独ではなしに、天城山以南の市町の皆さんとも力を合わせて、強固な要望活動を積み上げていきます。

伊豆市を含め半島南部の皆さんと力を合わせて、一日も早い無料化に向けて努力します。

質問

海、海岸の安全

(関 邦夫議員)

伊豆市には、土肥港、小土肥港、八木沢漁港、小下田漁港があり、漁港は農水省、港は国交省の所管。最近、無謀な水上バイク等のレジャーのため、漁業従事者、海水浴客は危険にさらされている。

海岸とそれにつながる海について、伊豆市の安全対策はどのようになっているのか。実際の管理はどこののか。

市長
市答

注意看板などの設置を検討

漁港は、伊豆市で管理し、伊豆市海水浴場に関する条例で、土肥、小土肥海水浴場については7月1日から8月31日までの間、水上バイク等の持ち込み及び航行を禁止しています。

八木沢、小下田漁港は、漁港の安全対策として水上バイク等の航行禁止区域を定め、漁業活動以外の利用を制限しています。

今後は、海水浴場開設期間以外についても漁業活動の妨げや船舶の航路妨害とならないよう、注意看板等の設置を検討していきます。



質問

公共工事の入札及び 契約の改善はいかに

(杉山 誠議員)

建設業は地域産業の中核として、雇用の維持、災害時の緊急対応や復旧作業にもなくてはならない存在だが、公共事業の減少や資材費の高騰、さらに景気の低迷により地域の建設業は窮地に追い込まれている。

このため国の緊急対策として、適正価格での契約の推進等が求められているが、当市の対応はどうか。

市長
市答

市内の事業、雇用を守ることも重要

無制限の一般競争入札を行うと競争が激化し、企業規模が大きいところが勝つのは、当たり前です。

しかし、それでは当初の財政負担は軽くなりますが、2、3年たつと、まちは疲弊してしまいます。

市内の事業、雇用を守ることは、重要な課題であるので、入札参加資格については、今後は地域要件、過去の実績、伊豆市との災害協定の有無、社会貢献度等を勘案して適用していきたいと考えます。

質問

天城温泉会館の今後の方向性

(森島吉文議員)

① 温泉施設は凍結という方向だと思いが、凍結後の施設での運営面での構想、計画、予算面での試算などありましたら伺います。

② また、この凍結により、湯の国会館は入場者数増となると思いますが、同じく運営面での新たな構想、計画などがありましたら伺います。

市長弁
市答

平成21年3月で温泉事業の凍結

① レストラン、売店については、これからどのようにするのか未定です。

劇場ホールは、文化と歴史の活性化という方向で、夕鶴記念館は、伊豆半島南部の観光案内施設にできればと考えています。事業計画がまだ固まっていないので、試算についてはまだありません。

② 湯の国会館は、地域の特性を活かしスポーツ団体の誘致はできないか、住民、地元、ユーザーの皆さんの意見をいただきながら、できることから順次改善に着手していきたくと思っています。

質問

修善寺ニュータウン地区の
公共下水道整備

(西島信也議員)

修善寺ニュータウンの下水道施設は、約四十年前に民間業者が敷設したが、老朽化がはなはだしく、下水管の劣化、処理能力の低下が懸念されている。

ニュータウン地区は、第一種低層住宅専用地域であるが、定住人口の増加を促進するためにも、公共下水道整備を今後どのような計画で進めていくのか。



▶修善寺ニュータウン
合併浄化槽

市長弁
市答

平成26年度以降を予定

修善寺ニュータウン地区は、狩野川流域下水道全体計画の中で、公共下水道の実施計画地区として位置づけられています。

実施時期については、中伊豆、大平、土肥地区の下水道整備が終了する平成26年度以降を予定しています。

準備スケジュールとしては、平成22年から23年頃、地元説明と協議を行う予定です。

その後、地形測量等の実態調査、基本調査に入っていくと考えています。

質問

人口減少に歯止めを
かけるべき施策

(鈴木初司議員)

市長として人口の減少に歯止めをかけるべきさまざまな施策をお考えだと思いますが、例えば私は小児科・産婦人科医療の充実を図ることによって人口の定着が考えられるし、また、妊産婦に医療費補助で厚遇することによって少子化対策に歯止めがかけられると思います。

市長の考えを伺います。

市長弁
市答

人口減少に対する強い危機感、
私も全く同様に

少子化対策として、助産院での妊婦健診も公費負担対象とし、また、ファミリーサポート事業、一時保育及び延長保育事業、ゼロ歳児保育事業を実施しています。

平成20年度から人口定住化プロジェクトの発足により、定住対策、限界集落対策、企業誘致を推進しています。

新年度より、妊婦健診の公費負担回数を5回から14回にし、また、新たに不妊治療医療費助成制度の創設も検討しています。

乳幼児医療費助成制度は、現在の小学校就学前までを、小学校6年生までにすることを進めています。

質問

学校再編成の市民に
向けての方針

(松本 覺議員)

学校統合について単学級、複式学級等マイナス面解消にのみ焦点を当ててではなく、新しい学校像、統合に至るプロセスを提示して論議を深めるべきだ。論議の視点として、①教育効果、条件整備を第一に ②費用対効果は二次的に ③地域の特性、学校の歴史伝統 ④負担軽減と公平性 ⑤市民の積極的合意 以上、具体例をあげての所感を伺います。

長弁
市答義務教育の質の向上のための
統合を推進

市民、保護者の皆様の声は統合に向けて強い希望を持っていると受け止めています。やがては、小中学校共に学年単学級となることも視野に入れ、教育の質の確保に絞って論議を進めます。

通学費等の負担の公平性は保ちます。

長弁
教育答

教育条件、教育効果の向上を目的とした統合であり、失敗は許されないと肝に銘じています。

小中一貫教育、職員の増員、配置の工夫等、研究に着手していますが、更に具体案を提示した上で審議いただき、きめ細かい準備を進めていきます。

質問

ごみ有料化の結論先には
なく、市民参加でごみ減量を

(木村建一議員)

市がおこなった市民アンケートの結果、ごみ有料化反対の声は過半数です。これが民意です。このアンケート結果をどう見ますか。ごみ減量化に努力している市民にも負担増ですか。

ごみを減らすために「ごみ有料化の結論先にはなく、市民の声を聞き、市民参加の取り組みを優先すべきではありませんか。

長弁
市答住民説明会で市民合意を
得て進めていく

アンケートの結果は判断材料にしますが、全体を把握することは難しく、アンケートは今後のごみの減量施策や、ごみ処理費用の負担のあり方等を検討するために実施しました。かなり多くの方々にごみの減量、資源化にご協力いただいておりますが、まだ分別排出等、努力の余地があります。

有料化によって更なるごみの排出抑制や再生利用の推進、また、排出量に応じた負担の公平化等について、地区懇談会やタウンミーティングで市民合意を得て進めていきます。

質問

市有林と遊休農地の利用は

(古見梅子議員)

伊豆市の市有林はどの位ありますか。今後、木材の利用の考えは。

また、遊休農地を生かし、自給率の向上、健康づくりにもなる市民農園を、市の支援によりできないか伺います。

長弁
市答材木の利用、
新たな農園開発を検討中

市有林は合わせて4,920ヘクタールあります。伐採・搬出・製材コスト等がかみ合いませんが、補助金の組み合わせ等研究し、公共施設で使うのみならず、景観改善の中に取り込めないか検討しています。

市民農園については、利用率が高く、中伊豆の体験農園は100%となっています。

西海岸地域は特に風光明媚であり、駿河湾フェリーを使った体験型・滞在型農園の新たな開発を検討したいと思います。

農林水産課では、すでに遊休農地の調査を進めています。



▲中伊豆体験農園

意見書

12月定例会で意見書を採択し
関係機関に提出しました。

安心の介護サービスの確保を求める意見書

2009年4月から介護保険サービスの第4期がスタートしますが、現在、介護業界では収益の悪化や、低賃金による人材不足が深刻な問題となっています。

安心の介護保険制度として根幹を維持しつつ、介護サービスの拡充を図るために、次の4項目について取り組みを行うよう、政府に要望しました。

提出先は、
内閣総理大臣、厚生労働大臣

1. 2009年度報酬改定において、介護施設・事業所に働く職員への評価を明確にし、介護報酬の改善を行うこと。
2. 介護報酬の引き上げが、被保険者の保険料の引き上げにつながらないように、特段の措置を行うこと。
3. 必要な療養病床の確保、認知症対策を拡充し、地域ケア体制の整備・拡充を図ること。
4. 介護従事者の処遇の改善や新たに福祉・介護人材確保のための緊急支援事業を実施し、雇用管理の改善に取り組むこと。

沼津河川国道事務所・出張所存続と地方分権改革推進本部の第2次勧告に対して地方分権改革推進委員会等における慎重な審議を求める意見書

政府は、「国から地方へ」と称し、地方整備局の事務所・出張所を廃止しようとしています。しかし、狩野川は中流域を中心に浸水被害が頻発しています。また、近年はこれまでの記録を超えるような豪雨や局所的な集中豪雨が発生する傾向もあります。

伊豆市にとって、沼津河川国道事務所・出張所の存続は必要不可欠と考え、次の3項目を実現するよう、政府に要望しました。

1. 地域住民の生命と財産を守る公共事業推進のため、存続させること。

2. 公共事業費の予算配分を防災や生活関連へ重点配分し、災害時の迅速・適切な対応がとれる体制に拡充すること。
3. 地方分権改革推進本部の第2次勧告に対して、地方分権改革推進委員会等における審議を慎重に行うこと。

提出先は、
内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、
国土交通大臣、行政改革担当大臣、
地方分権改革推進委員長

請願

ごみ有料化問題に関する請願書

不採択

今定例会に「ごみ有料化条例案」が上程されませんでしたので、不採択となりました。

議員 新年の抱負

皆様へのメッセージ



鈴木初司

初心を忘れず、市民の皆様とともに、よりよい伊豆市づくりに一生懸命取り組んで参ります。

「子育てしやすく、くらしやすい静岡一のまち」をめざし、イキイキ少子高齢化対策・スクスク子育て支援策・ワイワイ観光温泉集客策・ガッチリ防災安全対策で頑張ります。

梅原泰嗣

本年は多くの皆様とふれあい、会話を通じて地方行政等の勉強をさせていただきたい。

しかし、実際には失敗と反省の繰り返しになると思います。少しくも議員としての資質を身に付けたいと抱いています。

稲葉紀男

先の見えない不況の嵐の中で、今こそ市政の正しい舵取り、真価が問われる時です。

課題難題も多く、また、伊豆市の将来を左右する責任の重い議会となります。市民と市政を結ぶパイプ役、監査委員として真剣に希望を持って全力で取り組みます。

森島吉文

現在、世界レベルで不況の嵐が吹き荒れています。

伊豆市での稼ぎ頭、農林漁業、観光業、商工業、建設業に元気がありません。毎日が元気に力強く働けるよう環境整備も必要とあります。『安心、安全、元気な伊豆市づくり』を目指して頑張りたいと思います。

松本 覺

昨年は二度の選挙を体験しました。慌しい一年でしたが、市の実態、皆様の肉声を肌で感じ、自らの姿勢をより明確に強固にする機会となりました。

本年は市の根幹に関わる施策が山積しております。迅速、着実、斬新を旨に、市民の目線に立つて議員活動に邁進して参ります。

西島 信也

古代中国、殷の湯王は、「まことに日に新たに、日に新たに、また日にあらたなり」という言葉を洗面の器に刻み込んで、毎朝修身の決意を新たにしようと伝えられています。

私もこの言葉を胸にきざんで、伊豆市発展のため全力を尽くしたいと思います。

杉山 誠

世界的な経済不況で、社会は混迷の度を深めています。こんな時こそ改革のチャンスととらえて前向きに戦っていききたい。

いかにして市の活性化をはかり、庶民の暮らしを守っていくか。

議員としての使命と責任の重さをしっかりと受け止めて、本年もがんばります。

内田 勝行

伊豆市誕生から五年。『合併効果が見えない』と良く耳にします。それは合併による新たな問題がクローズアップされている事が起因していると思われ。今後も市民の満足度アップに最大限の努力を傾注していく所存です。



関 邦夫

地方の時代と言われているが過疎地では、特色を出すことは難しい。世界的不況で経済は、不安定だが、住民が平和で安全の中、心豊かな生活が出来る伊豆市にすることは出来る。

行政も議員も知恵を出し合い、協力しあい、一体となつて当面の苦境を乗り越えよう。

杉山 晃央

元気なまちには、人が集まる！人が集まると知恵が湧く！皆さんの意志を形にする！をモットーに、小さな一歩でも着実に進めて行きたいと思います。

あぜ道や路地裏に、子ども達のにぎやかな遊び声が聞こえる伊豆市になるために、皆さんと力を合わせてガンバリましょう。

大川 孝

空前の大不況の暗雲が世界を覆っています。新たな難問も生まれてきます。

伊豆市民で良かった。そんな社会を築くため、共に嵐の中に身を置きます。

オバマ次期大統領も強調しました。「私達にはできる」と。できます。皆さんと一緒になら。

森 良雄

伊豆市の未来を拓くには、住みよいまちをつくることです。子育てのしやすいまちをつくることです。安心安全なまちをつくることです。

公共料金の値上げラッシュがはじまります。箱物建設がはじまります。なにをするのか、一緒に考えよう。

古見 梅子

遊休農地の活用に、大豆、そば、菜の花を育てようと、

女性農業委員となり試験的に取り組んでいます。男女共同参画でその輪を広げていきたいと願っています。

住む人にとつても訪れる人にとつても魅力ある観光地伊豆を共に力を合わせ築こうではありませんか。

塩谷 尚司

景気後退に伴い地方財政も厳しい局面に立たされている。我が伊豆市ももちろん。

市民の安心、安全、住み良い環境を確保するため、行政執行機関、議会、市民で知恵を出し合い、協働で伊豆市の活性化を計っていききたい。

室野 英子

伊豆半島の中央に位置する伊豆市として、全国的に認知されてきました。訪れてくださる観光客にも、住んでいる市民にも、いいところと思えるように、行政

と協力し議員の職責を果たして参ります。

具体的には子育て支援。皆様の声をお聞かせ下さい。

飯田 正志

世界的な不況の中で伊豆市も同様、先行きが不安な時代となつてきましたが、あらゆる方策を駆使して取り組んで行かなければならないと思います。

今年行政が大きく変わろうとしている時、一体となつて伊豆市の活性化と発展のために真剣に取り組んで行こうと思います。

鍵山 堅一

高齢化社会や人口減少の進むなか、しっかりとした将来を見すえ、子育ての出来る住環境、福祉の向上に向けて、安全で安心な住み良いまちづくりのために全力で務めます。

三須 重治

世界不況の中、経済的弱者が多く出ています。国民等しく今はかゆいところへの手の届く手厚い政策は求めず、弱者が人として生活できる社会になるよう全力を傾注すべきだと思います。

伊豆市の発展を考えつつ、生活弱者にも配慮する議員活動をしたいと意を決しています。

木村 建一

高齢者はうば捨て、若者はモノのように使い捨て、地方も切り捨ての政治から、市民生活を懸命に守りぬくのが、自治体の役割です。これこそが、伊豆市の未来につながります。私の議員活動としての原点、『市民こそ主人』。今年も貫きます。



伊豆市議会の見学

修善寺東小6年 原菜々子

修善寺東小の六年は、天城にある市議会に見学に行きました。市議会で決まったことが伊豆市の未来が決まるということなので、私は集中して討論中の話の内容を聞きました。

特に印象が強かったのがごみを回収することで、手数料の値上げをすることが認められるかという議案でした。議員さんたちは、一人一人マイクの前に立ち、他の議員さんたちに呼びかけるようにして反対意見、賛成意見を述べていました。私は会議といっても学級会、代表委員会くらいしか出たことがないので、市議会はとても迫力があり驚きました。

むずかしい話もあり、話の内容がすべて理解はできませんでしたが、一つ分かったことがありました。それは議員さんたちが真剣に伊豆市の事を考えてくれているという事です。市議会でも未来も良い伊豆市であるように考えて頂きたいです。

修善寺小6年 富沢瑠美



私は、社会科見学で伊豆市議会へ行きました。社会の勉強で「私たちのくらしと政治」の勉強をしているので、地元の議会がどのようなものか知るために行きました。行く前、議場は学校の会議室みたいなものかなと思っていましたが、実際はとてもきれいで静かで緊張感があるなあと思いました。

話し合いが始まって何を言っているのかはともむずかしくてわからなかったけど、議員さんはまじの事を考えて質問し、市長さんはいろいろな事に丁寧に答えているなど思いました。とても勉強になりました。

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができまので、当日、天城湯ヶ島支所2階へお越しください。

なお、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

また、本会議の中継（録画）を市のホームページにて視聴できますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-85-2606)

3月定例会の予定

場所	天城湯ヶ島支所	議場
時間	午前9時30分	
2月23日(月)	市長施政方針演説	
	議案上程	
27日(金)	議案質疑	
3月9日(月)	一般質問	
10日(火)	一般質問	
13日(金)	委員長報告・質疑・討論・採決	

※変更となる場合がありますのでご承知ください。

編集後記

伊豆市誕生六年目を迎える本年は、市民合意を得て進展させるべく多くの重要課題があります。市民の皆様により関心を持っていただけるよう、わかりやすい紙面づくりに編集委員一同努めます。多岐にわたる一般質問、一つ一つに前向きな答弁。そのすべてを報告できません。年四回の定例会です。議会傍聴に気軽にお出かけ下さい。

委員長 古見 梅子

議会報編集委員6名です。1年間よろしくお願ひします。



森 良雄 西島 信也 鈴木 初司 梅原 泰嗣
委員長 古見 梅子 副委員長 松本 覺